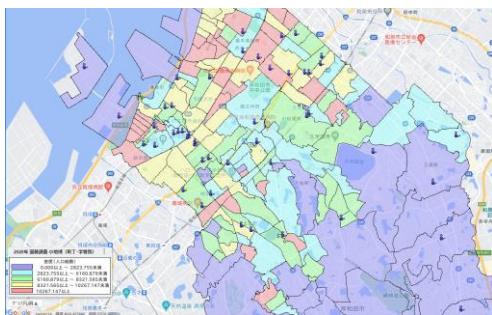


【地域データを分析して地域課題を解決しよう!】



e-Statのサイト



地図上に表したデータ

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

調査活動

表現・制作

協働学習

発表や話し合い

活用した機器等

生徒用PC
Windows OS

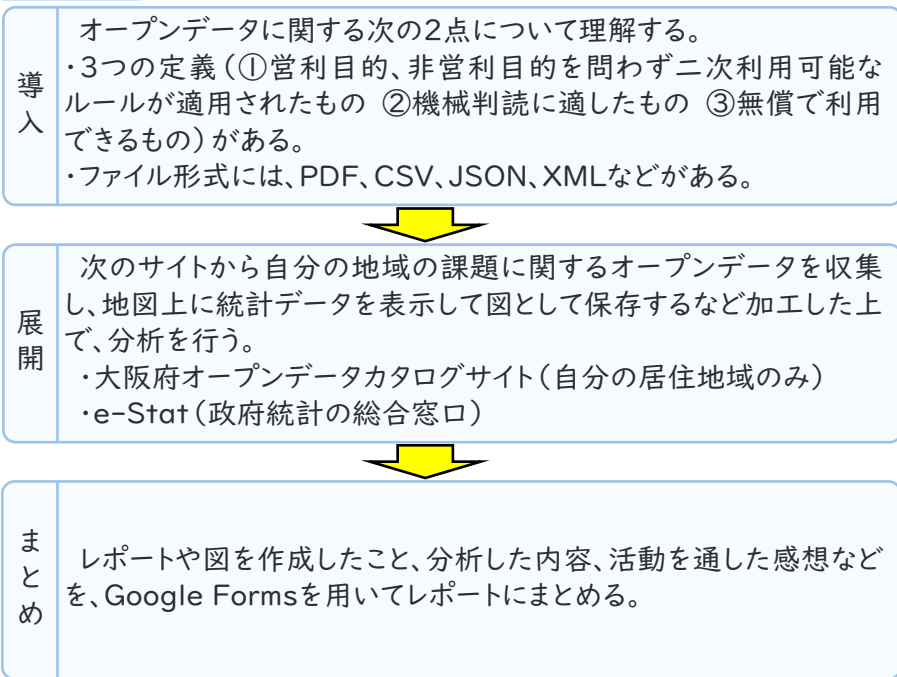
活用したアプリ等

e-Stat
Google Forms

学習のねらい

- ・地域データを収集し、表やグラフを地図上にプロットすることで、数値やテキストデータを可視化する。
- ・地域データを可視化したグラフなどから、正確にデータを読み取り、地域の現状を把握・分析し、地域課題を把握する。
- ・分析結果から得られた地域課題を他者と共有し、それらの地域課題を解決するための提案を行う。

学習の流れ



ココでICTを活用!

- ・生徒に身近なデータを使用することにより、生徒の興味・関心を引き出すことができたと考えられる。
- ・e-Statは、Web上で動作するサービスであるとともに、表計算ソフトを用いずに視覚的にデータ分析を行うことができるため、生徒が自分の端末からその興味・関心に合わせた調査や分析を行うことができた。
- ・ExcelファイルやCSVファイルでダウンロードすることができるデータもあるため、表計算ソフトを用いて各々が必要とする図やグラフを作成し、深い分析につなげることができた。
- ・Google Formsでまとめる機会を設けることで、地域の課題と解決策についてまとめたり、活動を振り返ったりできるようになった。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

生徒が住んでいる地域を題材とし、自らの興味・関心にあわせた調査や分析を行えるようにしたことで、生徒が主体的に活動に取り組むことができた。

また、データをグラフや地図上に表した視覚的なデータ分析だけでなく、表計算ソフトを用いた、より発展的な分析など、生徒によって様々な表現をする姿が見られた。

本単元を通して、自分が住んでいる地域に対して関心を高め、分析結果から得られた地域課題を他者と共有し、それらの地域課題を解決するための提案について考えるというところまでつなげることができた。